

令和5年度（2023年度）行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 15 日

評価対象事業		評価者	深沢地域整備課担当課長 奥山 信治	
まち-05	深沢地域整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	深沢地域整備課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。
効果	全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

2 令和4年度(2022年度)に実施した事業の概要

- ・将来のまちづくりの指針となる「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン(案)」を策定し、公表した。
- ・深沢地区における土地区画整理事業について、独立行政法人都市再生機構に施行を要請し、国土交通大臣に事業計画認可に係る申請を行った。
- ・深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度	
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)		
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)		
01	深沢地区まちづくりガイドライン策定業務	深沢地区まちづくりガイドライン策定業務委託等	事業の進捗度(%)	90.0	/	100.0	-	/
				25,197	/	25,364	13,079	
02	土地区画整理事業の実施準備に係る事務	深沢地区土地区画整理事業支援業務委託等	事業の進捗度(%)	80.0	/	100.0	-	/
				27,546	/	34,241	130,375	
03	深沢地域整備事業用地維持管理事務	深沢地域整備事業用地管理業務委託等	-	-	/	-	-	/
				2,303	/	3,317	5,600	
04	新駅設置に係る事務	村岡新駅(仮称)設置協議会負担金等	-	-	/	-	-	/
				4,862	/	8,840	145,679	
05	一般事務経費	消耗品費等	-	-	/	-	-	/
				405	/	420	603	
財源内訳			国県支出金	0	/	0	0	/
			地方債	0	/	0	0	
			その他特定財源	41,378	/	41,401	41,401	
			一般財源	18,935	/	30,781	253,935	
			事業費の合計(千円)	60,313	/	72,182	295,336	
			人件費(千円)			100,048	70,399	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	10.8	12.0	13.0	8.7		
会計年度任用職員	1.0	1.0	1.0	2.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	深沢地区まちづくりガイドライン策定業務	令和4年度中の事業計画認可の取得ができないことから、鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン(案)が確定しないため。	第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画の施策の方針で掲げている「鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の拠点」の実現に向けて、深沢地区における建築物やまち並みの景観ルール等を定める「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン(案)」を策定し、公表した。	鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン(案)の運用にあたり、エリアマネジメント手法と組織の検討等を行う。
02	土地区画整理事業の実施準備に係る事務	関係者等との協議に時間を要し、令和4年度中の事業計画認可の取得に間に合うよう、独立行政法人都市再生機構に施行を要請できなかった。	鎌倉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針では、深沢地域国鉄跡地周辺地区については、良好な市街地の形成や市街地環境の保全に配慮しながら、土地区画整理事業により一体的に整備を進めることとしており、鎌倉市都市マスタープランでは、深沢地域国鉄跡地周辺地区について、都市拠点という位置づけを踏まえ、都市型住宅と商業・業務機能、公園・広場、スポーツ関連機能等を導入することを定めている。これに基づき、令和4年(2022年)3月に都市計画決定を行い、令和4年度には、土地区画整理事業に係る事業計画認可を申請しており、上位施策の目的達成に寄与する事業である。	過去の経緯等を含め、関係者等に丁寧に説明を行っていく。
03	深沢地域整備事業用地維持管理事務	設定なし 深沢地域整備事業用地に隣接する道路を利用する歩行者や自転車等の安全確保及び暫定利用に供する施設の良好な環境保全を目的とし、必要に応じて維持管理を行うものであり、指標設定に馴染まないため。	第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画の施策の方針で掲げている「鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の拠点」の実現のため土地区画整理事業を行う深沢地域整備事業用地について、適切な維持管理を行った。	令和6年度の土地区画整理事業の工事開始まで、事業用地の維持管理を継続する必要がある。また、近隣住民等から用地外に影響を与える草木等の管理といった要望等があった場合、適宜対応する必要がある。
04	新駅設置に係る事務	設定なし 令和3年2月に新駅設置に関する覚書、令和4年3月に基本協定を締結し、令和4年度から詳細設計を行う予定を行っている。新駅設置に関しては、整備費用の負担金の支払いや新駅工事に関連する工事ヤードの確保等が考えられるが、鎌倉市で直接コントロールする部分は少ないことから、指標設定に馴染まないため。	鎌倉市都市マスタープランでは、深沢地域国鉄跡地周辺拠点として、東海道本線新駅構想を視野に入れ、新しい拠点整備を行うとしている。これに基づき、神奈川県、藤沢市及び鎌倉市が共同してJR東日本に対し新駅設置の要望を行い、神奈川県、藤沢市、鎌倉市及びJR東日本で、「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)設置及び自由通路整備に関する基本協定書」を締結しており、上位施策に寄与する事業である。	国の交付金充当の検討を行い、負担軽減を図っていく。

05	一般事務経費	-	-	-
----	--------	---	---	---

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー
		○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある 自治会町内会、商店会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・今後、事業の進展により基盤整備や土地利用、機能導入の誘導に係る事業費が必要であり、事業費の削減余地はなく、関連・類似事業との統合はできない。</p> <p>・深沢地域整備事業は、第4期基本計画の重点事業であり、鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図る事業である。</p> <p>・平成30年(2018年)3月末には、深沢地域への市役所移転を決定したことから、廃止・休止すれば市民生活への影響は多大となる。また、豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施していく必要がある。</p> <p>・関係者等との協議に時間を要し事業スケジュールに変更が生じているものの、令和4年度には土地区画整理事業に係る事業計画認可に係る申請をし、令和5年度中に事業計画認可の取得を目指し手続きを進めている。</p> <p>・今後も「村岡・深沢地区のまちづくりに関する基本協定」及び「村岡・深沢地区土地区画整理事業の施行に関する実施協定」に基づき、関係者との協議を重ね、準備を進めていく。</p> <p>・深沢地区における建築物やまち並みの景観ルール等を定める「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン(案)」を策定し、公表した。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	深沢地区まちづくりガイドラインの策定に係る進捗状況						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
令和4年度に深沢地区まちづくりガイドラインを策定するため。	目標値	33.3	66.7	100.0				
	実績値	33.3	66.7	90.0				
	達成率	100.0%	100.0%	90.0%				

指標(単位)	土地区画整理事業の実施準備に係る進捗状況						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
令和4年度に土地区画整理事業に係る事業計画認可を取得するため。	目標値	20.0	50.0	100.0				
	実績値	20.0	50.0	80.0				
	達成率	100.0%	100.0%	80.0%				

指標(単位)	深沢地域整備事業の説明会等の開催						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
本事業について理解を深めてもらうため説明会等を2回/年度、以上開催する。	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	実績値	5.0	23.0	26.0				
	達成率	250.0%	1150.0%	1300.0%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	施行中の土地区画整理事業のうち、公共団体等施行の地区数割合(下段は施行実績)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	平塚市	秦野市	大和市	綾瀬市
他市実績	0	2/2	0	1/2	0	1/1	1/1	1/1
	1/2	14/48	2/9	2/3	4/11	3/22	3/17	1/7

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業は、道路・公園等の都市施設を整備する最適な事業手法であり、他市において高い実績を上げている。 ・本事業においても、第4期基本計画に位置付けている鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点の実現を図るためには、最適な手法である。
--------------------------	---